

瑞雲寺 横浜市都筑区川和町 1593

市営地下鉄の川和駅から至近距離で道路挟んで同寺がある。

本尊は東方薬師瑠璃光如来で開創は歴慶元年(1338)で、醫王山と号し臨済宗円覚寺の末寺。手入れが行き届いた綺麗な庭で、毛筆を祀った「筆塚」が山門を潜ると直ぐ右手にある。本尊の薬師如来は、家康ゆかりの鷹薬師如来像があるらしい(右手腕に鷹が止まってして、毎年寅年に開帳されるので拝顔できなかった)。鐘楼も立派で梵鐘に延寶六年の銘文がある(新編武蔵風土記稿より)。また、歴代住職の宝塔も数基あり歴史を感じる禅寺であった。



山門を潜る筆塚がある



鐘楼



本殿の中に秘仏が



歴代住職の宝塔



本堂から山門方面(山門の間から川和駅が見える)